



先日、ミニ集会でもお話をいただきましたが、その後のお子様のスマートフォンの利用の様子はいかがでしょうか。家庭教育支援資料にも参考になるものがありましたのでお知らせいたします。(以下家庭教育支援資料(小学校資料)より抜粋)

携帯電話の利用とマナー

家庭で話し合いをし、携帯電話を買うことになった場合には、携帯電話の使用に関するルールを決めておくことが必要です。子どもは未熟でルール違反をすることもあると考え、違反の場合の罰則(たとえば一定期間の携帯電話の使用禁止など)を決めておくこともお奨めします。

携帯電話使用のルール(例)

1. 自宅内では居間で使うこと
2. 食事中や懇談中、深夜には使用しないこと
3. 一定の金額以上は使わないこと
4. 学校での使用については、学校のルールに従うこと
5. 他人を傷つけるような使い方をしないこと
6. 送信者不明のメールや知らない者からのメールが来た場合は、速やかに親に報告すること
7. ルール違反や携帯電話の使用によって生活に支障が生じている場合には、携帯電話の利用を停止すること

もし、携帯電話を買い与えるなら、家庭内で話し合い、少なくとも上記のようなルールを決めることが必要でしょう。そして、携帯電話については、何かあるごとに家庭で話し合う機会を設けることが重要です。頻繁に話し合うことによって、親が子どものことを大切に思っていることを示し、信頼関係を維持しながら問題解決にあたれるようにするのです。携帯電話を買うことは、携帯電話に関する問題のゴールでなくスタートですから、あらためて家庭内でのコミュニケーションを家族みんなで見直してほしいと思います。

<参考文献> 藤川大祐 「ケータイ世界の子どもたち」 講談社現代新書 2008.5

裏面には、ネット社会の健全な発展に向けた連絡協議会 「秋の一斉行動キャンペーン」のプリントを記載しています。

「それを見て傷つく人がいないかな」

「年齢・性別…いろいろな人がインターネットを利用します。自分や自分に近い友人が面白いと思う書き込みであっても、それを見て傷つく人はいないでしょうか。

書き込みをするときには、他者への優しさと想像力を忘れないようにしましょう。」

これを機に、お子様のスマートフォンやゲーム機器での書き込みなどについて家庭でも話題にしてみてください。

学校HPの来校者が1800名を超えました。毎日ではありませんが、少しずつ更新していきます。ぜひご覧になってください。(学校便りをカラーでご覧いただくこともできます。)

【横芝光町立南条小学校】で検索してみてください。スマートフォンでもご覧いただけます。



それを見て 傷つく人が いないかな

年齢・性別・属性・職業・価値観・・・色々な人がインターネットを利用します。
自分や自分に近い友人が面白いと思う書き込みであっても、
それを見て傷つく人はいないでしょうか。
書き込みをするときには、他者への優しさと想像力を忘れないようにしましょう。

ネット社会の健全な発展に向けた連絡協議会

【参加団体】（一財）安心ネットづくり促進協議会 / （一財）インターネットコメンティーズ協議会 / （一財）ケータイインターネット協会 / （一財）アシコムサービス協会 / （一財）電子消費者保護協会 / （一財）日本インターネットプロバイダー協会 / （一財）日本ケーブルテレビ連盟 / （一財）モバイルコンテンツフォーラム / （一財）インターネット協会
【協力団体】 情報処理推進機構 / 文部科学省青少年政策委員会 【事務局】（一財）マルチメディア戦略センター

後援：総務省 法務省 文部科学省 警察庁